

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	01 02 02	中期総合計画主要施策番号	3-09	担当課	部・課	危機管理部 危機管理防災課	
事業名	総合防災訓練事業				内 線	5208	
					E-mail	bosai@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S38 ~	根拠法令等	災害対策基本法、長野県地域防災計画				
実施方法	県が開催地の市町村と共同で実施					国庫・県単	県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	参加者3,000名規模の訓練を実施し、防災意識の高揚と防災関係機関相互の連携確認を行う。				
	対 象	市町村、関係防災機関及び地域住民				
	目指すべき姿	県が、関係防災機関及び地域住民と連携し、一市町村では対応できないような大規模災害を想定した各種実働型の防災訓練を総合的に実施することにより、災害時に即応できる体制を確立すると共に、広く地域住民の防災意識の普及啓発を図り、もって地域防災力の向上を図る。				
	事業内容	情報伝達、被害状況把握、交通規制、緊急物資搬送、避難所設置、救出救護、炊き出し、消火、ライフライン復旧などの総合的な災害応急対策訓練を実施する。				

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 役務費(記録用DVD作成):263千円 使用料及び賃借料(訓練資材リース代):1,116千円
	最終予算額 (A)		千円	1,660	1,613	1,613	
	決 算 額 (B)		千円	1,660	1,613		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	1,660	1,613	1,613	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.50	0.50	0.50	
	概算人件費 (C)		千円	4,159	4,129	4,129	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	5,819	5,742	5,742		

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 (効率指標 算出式) 概算事業費 / 開催回数
	訓練種目(活)	種目	64	55	60	
	訓練参加団体(活)	団体	92	97	90	
	訓練参加人数(活)	人	3,300	3,000	3,500	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 開催数	千円 / 回	5,819	5,742	5,742	

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価		評価区分
	参加者3,000名規模の訓練を実施し、防災意識の高揚と防災関係機関相互の連携確認を行う。	防災関係機関、地域住民約3,000名が参加して、地震や風水害対応訓練のほか、住民の避難訓練等、飯山市の地域的特性を考慮した訓練を実施し、防災意識の高揚に繋がった。 以上から、「概ね期待どおり」であった。		b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明			
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・H23年度の飯山市の訓練では、孤立集落救出訓練、実践的水防訓練、災害救助犬・消防・警察・DMAT連携訓練、災害指定病院における組織的な訓練など、地域の実情を踏まえた内容とした。 ・H23年3月の東北地方太平洋沖地震や長野県北部の地震により県内でも大きな被害が発生したことから、県民の防災に対する意識は、非常に高まっている。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり	
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり	

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	定型的な訓練を繰り返すことも必要であるが、関係市以外の市町村が参加し、より効果的な訓練となるよう、開催地の地勢や気候、高齢化率などを十分に考慮し、地域住民が本訓練へ参加することにより、地域の課題を見つけ、総合的に地域の防災力の向上を図る内容としていく。
	特記事項	H23信州型事業仕分け実施事業